

日刊 勤労千葉

86. 2. 18
No. 2170

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六(公衆)〇四七二(22)七二〇七

当局と完全一体となった

国労のスト破りも「第二波」も貫徹

2/15「スト破り」を拒否して、国労分会の組合員3名が勇気ある結集

転点 千葉

不当処分粉碎・「61・3ダイ改」阻止、2・15「第二波ストライキ」は、警察権力・国鉄当局一体となった弾圧体制を打ち破り、断固として打ちぬかれた。千葉運転区支部は、永田支部長以下全組合員が一丸となって一糸乱れぬ闘いを貫徹し、当局の闘争破壊を粉碎するとともに、業務移管攻撃と闘わないばかりか、「スト破り」を強要する国労指導部を弾劾し、「脱退届」を叩きつけた三名の国労組合員をわが組織に迎え入れた。支部は、より組織を強化し、業務移管Ⅱ線見阻止、三月ダイ改合理化粉碎にむけ、勝利への確信も固く奮闘中である。

たとえ処分うけようと、闘って勝つ道歩もう

第一波ストに対する大量不当処分、そして第二波ストを打ちぬいた後に予想される不当処分に対する組合員の不安は、二月十二日・十三日・十四日の三日間連続の職場集会における被処分者の「首を覚悟して闘う」との決意表明、そして、スト突入総決起集会(二月十四日夜)での永田支部長の決意あふれる挨拶により完全に払拭された。全組合員は、闘う決意を打ち固め、

支部は万全の体制を確立し、2・15ストに突入した。

「スト破りだけはできない!」

国労の再度のスト破りを弾劾し、三名の仲間が勤労千葉に結集

これより先、11・28/29「第一波スト」に際して、スト破りを行った国労は、今回の業務移管攻撃についても、ついに闘う方針を出さず、勤労千葉の2・15「第二波スト」への共闘はおろか、当局と一体となって「変作業」を組むことで勤労千葉の追及をかわそうとした。

怒りに燃えた勤労千葉の支部組合員は、国労の分会におしかけ、国労役員に対し激しく抗議した。国労分会の内部からも、国労の無方針Ⅱスト破り強要を弾劾する声が大きくまき起り、「ど



「3波でも4波でも勝利するまでトコトン闘いぬくぞ」突入総(2/4夜)



「組合の名をもってスト破りをやらされる風潮には加まれません!」新しい勤労千葉「ワッパ」を胸に決意表明の姿を拍手がツム。

反対同盟の激励とカンパ

「第二波スト」に突入した二月十五日、三里塚芝山連合空港反対同盟は、北原事務局長を先頭に、敷地内の市東さん、島村さん、萩原勇一さん、萩原進さん、秋葉義光さん、婦人行動隊の宮本さんらが用水決戦中の現地から勤労千葉支援のためにかけつけ、寒風をつき、終日、津田沼と千葉の両拠点激励デモを闘ってくれました。途中、勤労千葉本部会館に立ち寄られ、激励と共に、反対同盟一軒一軒をまわって集めた36万5千円の熱いカンパを手渡されました。勝利までガンバリます。

勝利するまでトコトン闘うぞ
支部は、大量の機動隊・公安・白腕章を動員したスト拠点破壊攻撃、さらには「確認書」なるスト破壊攻撃を打ち破り、十七時三〇分までストライキを貫徹した。
スト集約集会は、勤労千葉に結集した三名を熱い拍手で迎え、より固い団結で「第三波」でも「第四波」でも、勝利するまでとことん闘いぬくことを確認し、勝利の確信も固く散開した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!